

## 安全データシート

作成日 2019年6月27日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ポリフォーム B液
供給者の会社名	株式会社コンシヤス
住所	兵庫県神戸市中央区栄町通2丁目4-14 日栄ビル
電話番号	078-599-6917
メールアドレス	<a href="mailto:info@conscious-jp.com">info@conscious-jp.com</a>
推奨用途及び使用上の制限	屋根瓦用接着剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	高圧ガス 圧縮ガス 引火性液体 区分外 自然発火性液体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外 酸化性液体 区分外
健康有害性	急性毒性(吸入:気体) 区分外 生殖毒性 区分2 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(腎臓、肝臓) 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	高圧ガス:熱すると爆発するおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 長年にわたる、又は反復ばく露による腎臓、肝臓の障害のおそれ
注意書き	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 呼吸器保護具、保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
応急措置	吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
保管	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 日光から遮断し、容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別  
化学名又は一般名

混合物  
ポリオール混合液

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポリオール混合液	55～70%	特定できない	不明	不明	---
1,1,1,2-テトラフルオロエタン	10～20%	CH <sub>2</sub> FCF <sub>3</sub>	(2)-3585	2-(13)-48	811-97-2
窒素	1～10%	N <sub>2</sub>	対象外(元素)	既存	7727-37-9
トリス(モノクロロイソプロピル)ホスフェート	10～15%	C <sub>9</sub> H <sub>18</sub> Cl <sub>3</sub> O <sub>4</sub> P	(2)-2951, (2)-1941	既存	13674-84-5
ジエチレングリコール	5～10%	HO(CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> ) <sub>2</sub> H	(2)-415	既存	111-46-6
界面活性剤	<2%	特定できない	不明	不明	---
水	<2%	H <sub>2</sub> O	対象外(天然物)	既存	7732-18-5
α-メチルスチレン	<0.3%	C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> C(CH <sub>3</sub> ) <sub>2</sub> CH <sub>3</sub>	(3)-5	既存	98-83-9

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) アルファ-メチルスチレン(政令番号:36)(10%未満)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。ばく露又はその懸念がある場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに水と石鹼で洗浄すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、耐アルコール  
大火災: 水噴霧、耐アルコール性泡消火剤。

使ってはならない消火剤  
特有の危険有害性

棒状注水。  
燃えるが、容易には発火しない。  
加熱により容器が爆発するおそれがある。  
破裂したボンベが飛翔するおそれがある。  
蒸気は前兆なしにめまいや窒息を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法	<p>蒸気は、空気より重く、地表にそって拡がる。          火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。          吸入すると有害となるおそれがある。          損傷したボンベは専門家だけが取り扱う。          危険でなければ火災区域から容器を移動する。          消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。          消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。          安全弁から音が発生したり、タンクが変色したときは直ちに避難する。          火災に巻き込まれたタンクから常に離れる。          容器内に水を入れてはいけない。          周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。</p>
消火を行う者の保護	<p>空気式呼吸器(SCBA)を着用する。          製造者により特に推奨された耐薬品用保護衣を着用する。          防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。</p>
<p>6. 漏出時の措置          人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p>	<p>漏洩場所を換気する。          漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。          直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。          関係者以外は近づけない。          作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避け低地から離れる。          立ち入る前に、密閉された場所を換気する。</p>
環境に対する注意事項	<p>風上に留まる。          河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。          排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p>
封じ込め及び浄化の方法・機材	<p>環境中に放出してはならない。          危険でなければ漏れを止める。          可能ならば、漏洩している容器を回転させ、液体でなく気体が放出するようにする。          容器を冷却して蒸発を抑え、発生した蒸気雲を分散させるため散水を行う。          少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って空容器に回収する。後で廃棄処理する。          除去後、汚染現場を水と洗剤で完全に洗浄する。</p>
<p>7. 取扱い及び保管上の注意          取扱い</p>	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。          使用前に使用説明書を手入手すること。          すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。          加圧ガスを含むし、熱すると爆発のおそれがある。          容器は丁寧に取り扱い、衝撃を与えたり、転倒させない。</p>
技術的対策	
安全取扱注意事項	

容器の取り付け、取り外しの作業の際は、漏洩させないよう、十分注意する。

使用後は、バルブを完全に閉め、口金キャップを取り付け、保護キャップを付ける。

火気注意。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

多量に吸入すると、窒息する危険性がある。

取扱い後は手をよく洗うこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避  
衛生対策

保管

安全な保管条件

使わなくなった高圧容器は、速やかに販売事業者へ返却すること。

容器は直射日光や火気を避け、40℃以下の温度で保管すること。

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと  
保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。

保管場所には危険物を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。  
禁煙。

酸化剤から離して保管する。

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料

高圧ガス保安法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

消防法で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2018年版)	ACGIH (2017年版)
ポリオール混合液	未設定	未設定	未設定
1,1,1,2-テトラフルオロエタン	未設定	未設定	未設定
窒素	未設定	未設定	See Appendix F:minimal Oxygen Content(Simple asphyxiant)
トリス(モノクロロイソプロピル)ホスフェート	未設定	未設定	未設定
ジエチレングリコール	未設定	未設定	未設定
界面活性剤	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定
α-メチルスチレン	未設定	未設定	TWA 10ppm

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器又は防じんフィルター付き有機ガス用防毒マスクを着用すること。

眼の保護具

保護手袋を着用すること。  
材質はニトリル、ニトリルブタジエンゴム、ブチルゴム、ポリエチレン、PVC、ネオプレンが推奨される。

皮膚及び身体の保護具

眼の保護具を着用すること。  
保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)  
不浸透性の保護衣、保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態  
形状  
色

液体  
液体  
無色透明  
微フルオロカーボン臭

臭い

臭いのしきい(閾)値

データなし

pH

データなし

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

噴射剤-26°C、内容物>93°C(液体)

引火点

162.8°C超(測定方法:不明)

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

燃焼性(固体、気体)

適用されない

燃焼又は爆発範囲

データなし

蒸気圧

≤151 psia (25°C)

蒸気密度(空気=1)

データなし

比重(密度)

~1.1 (25°C)

溶解度

水に可溶

n-オクタノール/水分配係数

データなし

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

粘度(粘性率)

150 cP (25°C)

10. 安定性及び反応性

反応性

強酸化剤、強酸と反応する。

化学的安定性

通常の保管および取扱いの条件においては安定である。

危険有害反応可能性

高温にさらされると容器が破裂する恐れがある。

避けるべき条件

火花、炎、その他発火源、日光、加熱、高温。

混触危険物質

強酸化剤、強酸。

危険有害な分解生成物

熱分解又は燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、リン酸化物、塩化水素、フッ化水素、アルデヒド類を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

データ不足のため分類できない。

経皮

データ不足のため分類できない。

吸入(気体)

成分の急性毒性値は、1,1,1,2-テトラフルオロエタン 289000ppm、窒素 >50000ppmであり、混合物の急性毒性推定値が160855.16ppmのため、GHS:区分外に該当する。

<p>皮膚腐食性及び刺激性                  眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性                  呼吸器感作性                  皮膚感作性                  生殖細胞変異原性                  発がん性                  生殖毒性</p>	<p>吸入(蒸気)                  吸入(ミスト)</p>	<p>データ不足のため分類できない。                  データ不足のため分類できない。                  データ不足のため分類できない。                  データ不足のため分類できない。                  データ不足のため分類できない。                  データ不足のため分類できない。                  データ不足のため分類できない。                  データ不足のため分類できない。                  トリス(モノクロロイソプロピル)ホスフェート、ジエチレングリコールが区分2で濃度限界(3.0%)以上のため、GHS:区分2「生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い」に該当する。                  データ不足のため分類できない。                  成分濃度が濃度限界(≥1.0%、&lt;10%)の区分1の成分はジエチレングリコール(腎臓、肝臓)であるため、GHS:区分2(腎臓、肝臓)「長期にわたる又は反復ばく露による腎臓、肝臓の障害のおそれ」に該当する。                  データ不足のため分類できない。</p>
<p>特定標的臓器毒性(単回ばく露)                  特定標的臓器毒性(反復ばく露)</p>		<p>データ不足のため分類できない。                  成分濃度が濃度限界(≥1.0%、&lt;10%)の区分1の成分はジエチレングリコール(腎臓、肝臓)であるため、GHS:区分2(腎臓、肝臓)「長期にわたる又は反復ばく露による腎臓、肝臓の障害のおそれ」に該当する。</p>
<p>吸引性呼吸器有害性</p>		<p>データ不足のため分類できない。</p>
<p>12. 環境影響情報</p>		
<p>水生環境有害性(急性)                  水生環境有害性(長期間)                  オゾン層への有害性</p>		<p>データ不足のため分類できない。                  データ不足のため分類できない。                  モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。</p>
<p>13. 廃棄上の注意</p>		
<p>残余廃棄物</p>		<p>高圧ガスを廃棄する場合は、高圧ガス保安法一般高圧ガス保安規則の規定に従うこと。                  廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。                  都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p>
<p>汚染容器及び包装</p>		<p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。                  高圧ガスの容器を廃棄する場合は、製造業者等専門業者に回収を依頼すること。                  容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。                  空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>
<p>14. 輸送上の注意</p>		
<p>国際規則</p>	<p>Regulatory Information by Sea                  UN No.                  Proper Shipping Name                  Class                  Packing Group                  Marine Pollutant                  Harmful Liquid Substances</p>	<p>Complied with IMO.                  3500                  CHEMICAL UNDER PRESSURE, N.O.S.                  2.2                  -                  Not Applicable                  Not Applicable</p>

	Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
	UN No.	3500
	Proper Shipping Name	Chemical under pressure, n.o.s.
	Class	2.2
	Packing Group	-
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	3500
	品名	その他の加圧された化学薬品(他の危険性を有しないもの)
	クラス	2.2
	容器等級	-
	海洋汚染物質	非該当
	有害液体物質	非該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	3500
	品名	加圧された化学物質(他の危険性を有しないもの)(他に品名が明示されているものを除く)
	クラス	2.2
	等級	-
特別の安全対策		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 移動の際に、転倒、衝撃、摩擦、圧壊、漏洩などを生じないようにする。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 運搬中の事故等により災害が発生した場合は、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。 重量物を上積みしない。 輸送時にイエローカードを携帯する。
	緊急時応急措置指針番号	126
15. 適用法令		
	労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(アルファーマチルスチレン)
	化審法	危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号) 優先評価化学物質(法第2条第5項)(イソプロペニルベンゼン)
	消防法	第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)
	船舶安全法	高圧ガス(危規則第3条危険物告示別表第1)
	航空法	高圧ガス(施行規則第194条危険物告示別表第1)
16. その他の情報		
	連絡先	株式会社コンシヤス

## 参考文献

NITE GHS分類公表データ  
EU CLP Regulation, AnnexVI  
RTECS  
ECHA C&L Inventory Database  
ECHA Registered substances Database  
Hazardous Substance Data Bank (HSDB)  
国際化学物質安全性カード(ICSC)  
IPC Adhesives and Sealants “Polyset Roof Tile  
Adhesive AH-160 B-side, Propack” SDS(作成年月日:  
2018年3月30日)  
記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。